

# 神戸市歴史公文書館について



完成予想図

神戸市では、歴史的に価値のある公文書（歴史的公文書）や神戸市文書館が市史編纂のために収集してきた行政資料等を確実かつ適切に保存し、市民の方々にも広く利用していただくための施設として「神戸市歴史公文書館」の整備を進めています。

## （1）施設概要

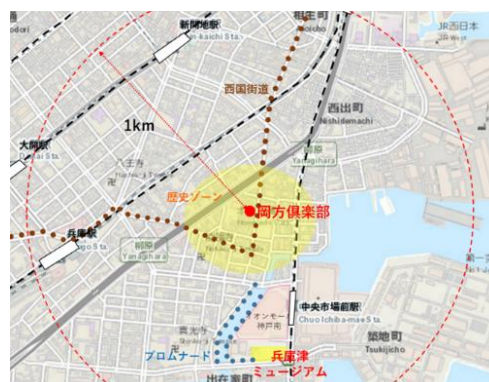
- ・国の登録有形文化財「旧岡方倶楽部」（兵庫区本町2丁目）の改修と敷地内に新設棟の設置を行い、令和8（2026）年6月の開館を予定しています。
- ・現在の神戸市文書館（中央区熊内町1丁目）は、保存資料とともに歴史公文書館に機能を移転します。

### ■本館（新設棟）

階数：地上5階/延床面積 約1,600㎡  
主な機能：閲覧室、事務室、会議室、  
閉架書庫

### ■別館（旧岡方倶楽部）

階数：地上3階/延床面積 約530㎡  
主な機能：展示室、事務室、閉架書庫



## (2) 歴史公文書館の事業

### ■ 歴史的公文書等の保存・整理

明治期、大正期の貴重な公文書や阪神・淡路大震災に関連する公文書などの歴史的公文書等を永久に保存していくため、適切な保存環境の維持による劣化への予防策に取り組み、資料の整理や修復、デジタル化を行います。

### ■ 歴史的公文書等の利用

本館1階に設ける閲覧室において、利用者からの請求に基づき歴史的公文書等を閲覧することができます。

また、資料管理システム（デジタルアーカイブ）を導入し、利用者の利便性を高めます。



新設棟・閲覧室イメージ

### ■ 歴史的公文書等に関する調査研究

歴史的公文書等に関する調査研究を行い、その成果を発信するとともに、レファレンスサービス（資料の利用に伴う調査相談対応）の向上につなげます。

### ■ 普及活動

市政史と神戸の歴史を伝える常設展示、企画展や講座の開催、ホームページからの情報発信等を通じて歴史公文書館の普及・広報活動を行います。

### 旧岡方倶楽部について

岡方倶楽部は、海陸の要衝として繁栄を極めた江戸時代の岡方惣会所の跡地に兵庫商人の社交場として昭和2年に建造された倶楽部建築です。高松吉三郎設計による堅牢な鉄筋コンクリート3階建ての建築で、大正時代に流行したセーセッション(分離派)と呼ばれる様式の一例に属し、タイルと石を張りめぐらした外観に見られるような直線性、平面性を強調した単純な構成と幾何学的な装飾を特色とします。正面玄関のアーチ装飾や軒周りの波を抽象化した装飾、館内では三階のホール扉の楕円形装飾や、ホール壁面から天井に連続する巧みでありながら簡潔な漆喰装飾が見所となっています。

(一般社団法人 よみがえる兵庫津連絡協議会HPより)